

【評価実施概要】

事業所番号	0171200181		
法人名	有限会社 クロバー		
事業所名	ぐるーぷほむ 花いちもんめ		
所在地	〒061-1371 恵庭市恵み野東7丁目5番6号 (電話) 0123-37-4213		
評価機関名	〒060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601B		
所在地	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
訪問調査日	2009年12月11日	評価確定日	平成22年1月10日

【情報提供票より】(21年11月13日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年6月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 1人, 非常勤 9人,	常勤換算 3.8人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	2 階建ての	1 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	29,000 ~ 38,000 円	その他の経費(月額)	水高熱費, 18,000 円	
敷金	有 ( 29,000 ~ 38,000 円 )			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	367 円	おやつ	200 円
	または1日当たり		1,167 円	

(4) 利用者の概要(11月13日現在)

利用者人数	9 名	男性	4 名	女性	5 名	
要介護 1	5名	要介護 2	3名			
要介護 3	0名	要介護 4	1名			
要介護 5	0名	要支援 2	0名			
年齢	平均	83 歳	最低	73 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	岡田内科医院・恵庭第一病院・加藤歯科
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは閑静な住宅街に位置しており、玄関前は公園で環境に恵まれている。鉄筋コンクリート2階建ての1階部分をホームとして改造しており、室内はリビングを中心に広く明るく利用者の安全に配慮された造りとなっている。職員はチームワークが良く家庭的な雰囲気の中で優しく利用者へ接している。利用者は毎日の散歩の他、季節ごとのホーム行事等を楽しむことができ、表情は生き生きとして明るい。ボランティアの受け入れやホームの防災訓練に町内の人々が参加する等、地域の人々との連携協力関係は深いものがある。運営理念である「愛情・優しさ・思いやり」を大切に、期待されているホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回課題であった個人情報の取り扱いについては書類保管等に細心の注意をはらっており、職員異動については手紙や「たより」で通知している。水分、食事摂取量等の確認についても適切に行なわれ改善されている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	外部評価、自己評価の意義を確認している。自己評価はカンファランスでも話し合い、内容を討議し、管理者と共に職員全員が参加して作成している。評価を日頃のケアサービスの振り返りの機会と捉えサービスの質の向上に活かしている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は2ヶ月に1度定期的開催され記録されている。市担当職員、地域包括支援センター職員、町内会長、民生委員、家族代表、事業所運営者、職員が参加して、ホーム運営内容、行事、研修、事故報告、防災、評価、ボランティア活動等について報告し討議している。討議された内容はサービスの質の向上に活かすよう取り組んでいる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	「ホーム便り」が2ヶ月に1度発行され、行事や暮らし振り、職員異動等を伝えている。毎月送る手紙には個々の健康状態や金銭管理について報告し確認をとっている。ホーム来訪時には話を聴くようにし、意見箱の設置、公的機関への苦情相談窓口を明示している。運営推進会議を通して家族意見はホーム運営に反映するよう行なっている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入しミニ運動会、草取り、掃除等に参加している。近隣の美容室や商店の利用、毎日の散歩等で人々とは顔馴染みとなっており、挨拶を交わす等日常的な交流がある。多様なボランティアの活動を受け入れ、地域住民の福祉や介護の相談支援も行なっている。ホームでの防災訓練には町内の人々の参加があり、地域との連携協力関係が築かれている。

## 2. 評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の一員として住み慣れた地域で安心して暮らせるように事業所独自の理念を策定している。「愛情・やさしさ・思いやり・希望」をホーム理念としホーム内やパンフレットに明示している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の採用時には理念の説明を行い、日々のカンファランスでも話し合い職員と共有を図っている。理念はホーム内に掲示し実践に向けて日々取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しミニ運動会行事や草取り作業に参加している。近隣の散歩や商店利用で挨拶を交わしており、又地域の人々がホーム訪問する等顔馴染みとなっている。ホームの防災訓練では町内の人々が参加し地域の協力を得ている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は評価の意義や目的を理解している。自己評価は日常サービスの見直しとなる機会と捉えカンファランス等で検討している。外部評価は結果を踏まえて改善に向けて具体的に取り組みサービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は2カ月毎に開催し記録している。市職員、地域包括支援センター職員、町内会長、民生委員、家族代表、事業所運営者、職員等が参加しホーム運営内容や行事、研修、事故報告、ボランティア活動、評価等について報告し討議している。会議で討議された内容はサービス向上に活かされている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市担当者とは日頃から情報交換し連絡をとり合っている。恵庭市グループホームネットワーク会では毎月会合があり、会議参加の市担当者と意見交換する機会があり、共にサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「花たより」を2カ月に1度発行しホーム行事や職員異動、利用者の暮らし振りを写真入りで伝えている。ホーム来訪時にはケアプランの確認や金銭管理の報告、領収確認を行い、月1度の手紙では個々の報告を行ない、体調変化や必要時には電話連絡をしている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日頃より家族が来訪した時は気軽に話せる雰囲気づくりをしている。意見箱はホーム内に設置しており、苦情担当者も重要事項に明示している。運営推進会議で討議された家族意見等は運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員異動は最小限に抑えている。異動は「便り」や手紙で家族に報告している。新しい職員が入る場合は、事前にボランティアで経験し、利用者と同顔馴染みになるようにして、利用者のダメージをできるだけ少なくするように配慮している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は外部研修・内部研修の受講ができるように資金援助も含めて協力している。管理者研修・職員研修・グループホームネットワーク研修に参加し、サービス向上の知識を深めている。研修結果はカンファランスで報告し内容を共有し、働きながらの資格取得についても配慮されている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>恵庭市グループホームネットワーク会に参加し、情報交換、相互訪問、研修、市との交渉等積極的に活動し、同業者と共にサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>サービス開始前に職員が自宅に出向いて本人、家族と話し合い、ホーム訪問もお願いして雰囲気に馴染めるよう工夫している。入居後も利用者のペースを尊重し、安心して利用できるように配慮している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者と喜びや哀しみの感情を共有し支え合う関係を築いている。人生の先輩として尊敬の念をもち、培われた経験や知識を学ぶ姿勢をもち日々生活を共にしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p align="center"><b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p><b>1. 一人ひとりの把握</b></p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の思いや意向を日頃の関わり合いの中で汲み取っている。把握が困難な場合は家族や関係者から情報を得るように努め、一人ひとりの希望に沿い、本人本位の生活ができるように支援している。</p>		
<p><b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>一人ひとりの意向や心身の状況に配慮しながら、日々の観察や記録等を参考にして、本人、家族、職員、医師、関係者と話し合い、全職員で意見交換を行い、適切な介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的な見直しは3ヵ月毎に行なっている。定期的以外にも利用者の心身に変化が生じ計画の見直しが必要な場合は、本人、家族、医師、看護師、職員、関係者と意見交換を行い現状に即した最適な介護計画を作成している。</p>		
<p><b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b></p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者希望のかかりつけ医や必要な医療機関受診への付き添い、連絡、送迎を行なっている。又家族や地域の人々の介護、福祉に関する相談を受ける等柔軟な支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からの利用者かかりつけ医との連絡、通院支援を行ない、診療結果は家族に連絡している。週1度看護師による健康管理がなされ必要時には医療機関への連絡等を行ない、常に適切な医療が受けられるよう支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の対応については、事前にホームで対処でき得る最大限を本人や家族に説明し納得を得られるよう契約を交わしている。状況の変化については医師、看護師、家族、職員、関係者全員で話し合い方針を共有している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者の誇りやプライバシーを損ねることのないよう日々の動作や言葉遣いに配慮している。個人情報記載の書類棚にはカーテンをかけた、特定の保管場所に収納して人目に触れないようにし、家族面会簿記載にも注意をはらっている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の日々の暮らしは一人ひとりの意向や希望に沿って支援している。ホームとしての1日の流れやケアプランについての配慮も行ないながら、利用者本位としている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの力や希望を活かしながら、献立の作成、買い物、下ごしらえ、盛り付け、後片付け等を共に行なっている。職員と利用者は食卓を一緒に囲み、談笑しながらの食事は1日の楽しみとなっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	午後からはいつでも入浴できるようにしている。一人ひとりの希望やタイミングに合わせて声かけして行ない、自由に入浴が楽しめるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	もてる力や希望を把握し、役割があるように場面づくりをしている。調理の下ごしらえ、洗濯たたみ、落ち葉掃き、掃除、除雪の他、読書等がある。適時に行われるホーム行事の小旅行、雛祭りや誕生会、クリスマス会も楽しみとなっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	体調に配慮しながら近隣の公園に毎日散歩に出かけている。図書館や郷土資料館通い、買い物、パークゴルフ、郊外へのドライブ、外食等希望にそって戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中施錠はしていない。暮らしの中で利用者の動きの見守りをしており、外出の様子がみられたら声かけをしたり、付き添う等して安全に配慮しながら自由な生活のケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署協力のもと防災訓練を行なっている。消火器取り扱いや避難場所の確認、夜間想定しての避難訓練を行なっている。近所には職員が事前に防災訓練実施を伝え地域の人々の参加と協力を得ることができている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事摂取量や水分摂取量を毎食記録し確認している。食材形態に工夫を加えたり、種類を豊富にする等して必要量の確保を図っている。咀嚼、嚥下状態にも配慮し支援している。栄養バランス等については保健センターに相談している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関を入ると広いリビングがあり、ゆっくり寛げる空間となっている。椅子、テーブル、ソファが置かれキッチンからも見渡しが良く利用者の安全が配慮されている。民芸調の置物や花が安らぎと季節を感じさせている。採光、換気、温度、湿度も適切で居心地良く過ごせるよう工夫している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には馴染みの使い慣れた家具やベットが持ち込まれ、家族写真や趣味の作品が飾られている。一人ひとりの個性に合わせて安心して過ごせる居室となっている。		

 は、重点項目。